国領グリーンレター -2026年度 秋号-

さつまいもを収穫しました





10月7日、2年生がサツマイモ掘りを行いました。
昨年度の反省を活かし、水やりの量やつる返しの時期に気を配り、今年度はさらなる収穫を期待していました。
2面の畑で栽培したサツマイモは、どちらも葉が青々と茂り、順調に育っているように見えましたが、掘ってみると結果は大きく異なりました。1面ではたくさんのサツマイモが収穫できた一方、もう1面ではほとんど収穫できず、畑によって大きな差が見られました。掘り進める中で土の硬さにも違いがあることが分かり、収穫量の差は、その影響によるものだったのかもしれません。
それでも子どもたちは、小さなふくらみを見つけるたびに歓声を上げ、友達と力を合わせながら楽しそうに掘り進めていました。収穫の喜びだけでなく、作物を育てることの難しさを感じる機会となったようです。
このサツマイモ栽培は、地域ボランティアの皆さんの支えによって成り立っています。畝づくりや苗の植え付け準備をはじめ、生育期間中の苗の管理や畑の見守り、収穫前のつる切り作業まで、多くの場面でご協力をいただきました。

「菜の花畑を育てます」イベントを開催しました




11月1日に開催したイベントには、気持ちのよい秋晴れの中、子どもたちやご家族、地域の皆さんなど、総勢31名にご参加いただきました。
卒業式から入学式までの期間に素敵な花が咲くように、菜の花は約2万粒の種を、チューリップは300個の球根を、時期をずらして育てます。今回は、そのうちの3分の2を使い、畑に菜の花の種をまいたり、23台のプランターにチューリップの球根を植えたりしました。
また、来年度のサツマイモ栽培に向けて、土壌改良を目的に腐葉土とくん炭を耕運機で混ぜ込みました。耕運機の操作にはコツと体力が必要なため、参加された皆さんは汗を流しながら作業してくださいました。子どもたちも大人に見守られながら耕運機の操作を体験したり、スコップで土を掘り返したりと、普段はなかなかできない作業に挑戦しながら楽しんでいました。
当日は、地域の皆さんと保護者、子どもたちが和気あいあいと交流しながら活動を進めることができました。今後も地域の皆さんと協力しながら手入れを続け、子どもたちの学びや学校行事を彩る場へと育てていきたいと思います。






くちなしの花



校長先生が大切に育てていらしたクチナシが、校長室からお引っ越ししました。
クチナシは梅雨入り前後に白い花を咲かせ、甘い香りを漂わせます。「子どもたちに香りで季節を感じてほしい」という校長先生の思いが込められています。
さて、クチナシの新しい住まいはどこでしょう。来年、花が咲くころには、香りがヒントになるかもしれません。ぜひ探してみてください。

グリーンサポーター活動中！

地域の皆さんと一緒に、畑や花壇の整備、植物のお世話、種まきや苗植え、看板作りなどを行っています。陸稲の稲刈りや綿の種とり、ひょうたん作り、コキアのほうき作りなど、さまざまな体験も楽しんでいます。
興味のある方は、ぜひ地域学校協働本部までメールでご連絡ください。




コミュニティ・スクールである国領小学校では「学校と地域による畑・花壇の協働管理」に取り組んでいます。学校運営協議会による全面バックアップを受けて、教職員・児童・保護者・地域のボランティアのみなさんが力を合わせてお世話をしています。
この「国領グリーンレター」では、そんな畑や花壇の様子をお伝えします。
児童のみなさんにはもちろんのこと、保護者の皆様や学校施設を利用する皆様にも関心を持っていただき、植物を通してコミュニティの輪が広がることを期待します。

国領小学校　地域学校協働本部　kokuryou-sho-gakosien@chofu-schools.jp